



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：唐澤敏治 副会長：田中洋 幹事：市川満貞

2017-2018 国際ロータリーのテーマ

**ロータリー：変化をもたらす**  
 ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

2017-2018 RI会長  
 イアン H.S. ライズリー  
 オーストラリア  
 (ビクトリア州)

**第1434回例会 平成30年1月30日(火)**

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 真実を求めて 平澤理ソングリーダー

■ ゲスト・ビジター紹介



・伊那市役所建設部長 山崎大行様



・伊那西IAC顧問 木原志保里様



・交換留学生 唐澤景南様



・地区青少年交換委員・箕輪RC会長 藤澤久美子様



・交換留学生 グレゴワ様 (フランス)

■ ニコニコボックス

- ◆唐澤敏治 寒い日が続いております。早いもので1月も明日で終わりです。今日は大変お忙しい中、伊那市建設部長 山崎大行様に卓話を快く引き受けていただきありがとうございました。唐澤景南さんのフランス留学に合わせ木原先生、箕輪ロータリークラブ会長 藤澤久美子様、交換留学生グレゴワさん、よくお出で下さいました。
- ◆市川満貞 山崎部長様、藤澤会長様並びにご来賓の皆様、本日はありがとうございます。
- ◆矢野昌史 山崎様、藤澤会長、グレゴワさん、木原先生、唐澤景南さん、今日はよろしくお祈いします。景南さん、体に気を付けて楽しいフランス生活を過ごして来て下さい。
- ◆唐澤稔 山崎建設部長、本日卓話をありがとうございます。楽しみにしております。又、ゲスト・ビジターの皆様、歓迎致します。
- ◆熊谷健 1月16日に還暦を迎えました。今日の講師の山崎さんも還暦を迎えたはずですが、今日はよろしくお祈いします。
- ◆杉本徳治 お疲れ様です。まだ寒い日が続きますが春はもうすぐです。1月は所用で欠席が多く皆様にご迷惑をお掛けしました。新工場の引渡しが決まり、設備の据付及び稼働に向けての準備等で7月頃まではご迷惑をお掛けしますが宜しくお祈い致します。

■ 幹事報告 市川満貞幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 出席報告 会員数45名 出席免除会員6名 長欠会員2名 本日出席者28名 事前メイク3名  
 出席率83.78% 前回出席率 修正なし

## ■ 地区青少年交換学生事業について

### ・地区IA委員 矢野昌史会員より



唐澤景南さんのフランス留学について日程等が報告された

### ・地区青少年交換委員 藤澤久美子様より



フランス留学予定の唐澤景南さんに激励の言葉を掛けられた。  
3月に開催されるI.M.ホストクラブ会長として、大勢の参加を呼び掛けられた。

### ・留学生 グレゴワさんより



自己紹介と現況（岡谷工業高校通学中）が述べられた。

### ・伊那西IAC顧問 木原志保里先生より



伊那中央RCに対し日頃の感謝と、今回の唐澤景南さんフランス留学の実現に至った事へのお礼の言葉をいただいた。

### ・留学生 唐澤景南さんより



フランス留学が叶った事への感謝と、この留学が今後の人生のチャンスであり、良いみやげ話ができるよう頑張りたいとの抱負を述べた。

### ・唐澤敏治会長より



留学する景南さんへの激励の言葉と、バナー・饂飩を手渡された。

## ■ クラブフォーラム 「職業・社会奉仕委員長」

### ・卓話者紹介 唐澤千明 職業・社会奉仕委員長



昨年9月に引き続き、職業・社会奉仕委員会での2回目の異業種卓話です。

今回は身近に感じる道路事情について、伊那市役所建設部長 山崎大行さんから「伊那市の幹線道路網について」をテーマにお話をお聞きしたいと思います。山崎部長は高遠町出身で高遠町役場に約30年、合併後伊那市役所に12年間お勤めされている大物行政マンです。

伊那市の幹線道路整備は遅れていると感じるのは私だけではないと思います。現状を知り、将来の姿を見据えた中で、会社の発展に結び付けていただきたいと思います。最後に質問の時間をとります。それでは山崎部長よろしくお願ひ致します。

## ・卓話 伊那市建設部長 山崎大行様



長野県伊那市「地方自治体のトップランナーとして全国から注目される取り組み」を行っています。取り組んでいる事業はたくさんありますが、主な項目を上げてみました。

- ① 健康で安心して暮らせる地域づくり
- ② 郷土愛を育む教育
- ③ 移住・定住の促進
- ④ IoT、AI など新産業技術の推進
- ⑤ 企業誘致
- ⑥ 観光事業の産業化
- ⑦ 社会資本整備の促進
- ⑧ 伊那から減らそうCO2
- ⑨ 50年の森林ビジョンの推進
- ⑩ 財政の健全化

最近の道路整備では、次のようなことが求められています。

- ① 災害に強い道路整備
- ② 事故、災害時の代替性機能
- ③ 中山間地の定住促進や活性化を図る道路整備
- ④ 地域産業を活性化する機能
- ⑤ 広域観光を支援する道路整備

これから伊那市が一番大きく変わるタイミングとすると、2027年。9年後のリニア中央新幹線の開業だと考えています。それまでにしておかなければいけないことをしっかりと見据えて、遅れないような取り組みをしていかなければなりません。

現在の市内幹線道路の現状は、天竜川の西側に 広域農道、中央道、国道153号、東側に竜東線と、南北には道路が比較的整備されています。ところが東から来た道路は、いずれも天竜川を渡ったところで切れてしまいます。この幹線道路を、短期のうちに整備を行う道路、中期的に、長期的に整備する道路に位置づけて、将来は、内環状線と外環状線を完成させ、市街地での移動性を向上させるとともに主要道路の代替機能を発揮させ、市街地に直接関係のない車両を通過させることにより渋滞を緩和させるとともに、リニア長野県駅へのアクセス強化を図ろうと考えています。

小黒川スマートインターチェンジは、昨年9月30日に開通しました。ETC搭載車両に限った利用ですが、長野県内の中央道では、初めてのSICとなりました。日本を訪れる外国人が、高速道路の名前がわかりづらいという事で、ナンバリングを振ることになりました。ここでは「E19」という番号が付けられています。小黒川SICはこれまで、上下線合わせて平均で1日1,600台を超える利用をいただいております、予想を上回る好調な利用状況です。

環状南線は、市役所から天竜川を渡ったところで止まっていますが、小黒川大橋の北まで約1.3kmをH32年度の開通を目指して伊那市が事業主体で延伸します。新たな踏み切りを作るためのJR東海との協議も整い、事業が本格化します。

現在の153号は、朝夕の通勤時間帯にあちこちで慢性的な渋滞が起こっています。また、中央道が雪や事故などで通行止めになったときは、迂回した車で大変な渋滞が起きています。長野県が施工している伊那バイパスは、リニア開通までに整備される路線に位置付けられています。環状北線は伊那ICから国道153号まで降りたところで止まっていますが、これを新しくできる伊那BPまで延伸するものです。環状北線もリニア開通までに開通させてほしいと長野県にお願いしています。

伊那BPの脇に、若宮市営住宅があります。建築後50年近くなり、老朽化が進んでいますので、若者、子育て世代向けの住宅、高齢者専用の住宅を考え建て替えを行う予定です。大萱市営住宅も老朽化が進んでおり、いずれの団地も市営住宅と県営住宅と隣り合わせていますので、長野県と伊那市が協力して建て替えを考えています。

伊駒アルプスロードは、伊那市青島から駒ヶ根市北の原まで、約11kmが開設するものです。ルートが決まり、都市計画決定に向けた手続きが始まりました。環境アセスの調査が進められており、都市計画決定後、事業着手になります。この道路も本来は県がやるべき事業ですが、リニア開通までの

完成となると、とても大変なので、国に権限代行での施行をお願いしています。

国道153号は愛知県名古屋市と長野県塩尻市を結ぶ道路です。現在、飯島町で行われている伊南バイパス工事は、権限代行により国交省により行われていますが、この完成がH30年と公表されたこともあり、予算を確保するといった観点からも、伊駒ARは伊南BPに引き続いて施行されるよう一生懸命要望しています。

そのほか三遠南信道路、着々と進められています。開通すれば物流も大きく変わることになり、完成が待ち望まれています。残念ながら全体の完成時期は示されていません。

道路には色々な種類の道路がありますが誰が管理しているかお分かりでしょうか。管理者は、道路法において都道府県道と、市町村道の管理はその路線の存在する都道府県、市町村が行うと定められています。国道は、新しく作ったものや政令で指定された指定区間の管理は国土交通大臣が行い、その他の部分の国道はその路線の存在する都道府県が管理することとされています。伊那市が管理している市道は1,950kmあります。橋も782橋もあり、維持管理費用も大変です。除雪費用は、雪が多かったり、寒かったりで変わりますが、多い年には1億を超える年もあります。平均すると一冬6千万を超える経費がかかっています。

先ほどの国道153号に指定区間という区間が存在します。指定区間は国が維持管理してくれますが、そうでない区間は、長野県が管理することになります。伊南BPは権限代行で国交省が施工してくれているとお話ししましたが、権限代行で施行するとは、本来は県管理道路なので県が整備しなければなりません。国が代わって権限を行使してくれるということです。ただし、何でもかんでもしてくれるということではなく、厳しいルールがあります。伊南BPでは、現在行っている長大橋が、高度な技術を必要とすると判断され、権限代行で施工されています。

道路はいつの時代も人の歴史とともに歩んできました。市内にも、古くは三州街道、金沢街道、権兵衛街道、秋葉街道といった歴史街道が通っています。道路は人やモノが移動する、私たちの日常生活や経済活動を支えるもっとも身近な社会資本です。私たちが、「伊那に生きる。ここに暮らし続ける。」そのためにも、道路をはじめとするインフラ整備は、地方創生の第一歩だと考えています。

ご静聴ありがとうございました。

■ 点 鐘

13:30

次回例会

2月6日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店